

# へり現地調査結果

平成 26 年 7 月 11 日

## 長野県南木曾町土石流災害調査（平成26年7月11日）所見等

※ 以下は上空からの目視による調査結果であるため、今後、詳細調査により変更する可能性がある。

1 日時 平成26年7月11日 13:30～15:30

### 2 参加者

- ・国土技術政策研究所 土砂災害研究部 砂防研究室 蒲原室長
- ・中部地方整備局河川部 河川計画課 林課長補佐

### 3 調査所見

#### 【調査溪流】

8 溪流：梨子沢（大梨子沢・小梨子沢）、大沢田沢、大水上沢、蛇抜沢（和合）、北沢、神戸沢、戦沢

#### 【大梨子沢（おおなしざわ）】

- ・南木曾岳山稜尾根付近の高所で崩壊が発生しており、崩壊を起点として土石流が流下した跡を確認した。流下経路について、上流は勾配が急で不明瞭な谷地形であり、表層土が剥ぎ取られ基岩が流下範囲に沿って露出している。下流域については、溪流内で幅を持ちながら流下したことが判り、流下時に相当の水深と所々で溪岸へのせり上がりをみせながら流下した状況が推定できる。
- ・流下範囲について、尾根に近い部分からかなりの湧水があり、急こう配部分では滝状に流下している。大規模な不安定土塊や流木の溜り、天然ダムなどは認められない。急こう配部以外では溪流内に巨石を含む石礫や土砂、侵食され残った土砂が残存している。
- ・崩壊は、南側の一ノ沢、二ノ沢から確認された範囲で少なくとも3箇所以上を起点に発生しており、土石流となって流下している。北側の二又沢、三ノ沢にも崩壊地がそれぞれ認められるが土石流には至っていない。

#### 【小梨子沢（こなしざわ）】

- ・梨子沢同様に山稜尾根付近の高所で崩壊が発生しており、確認された範囲で2箇所の崩壊を起点として土石流が流下した跡を確認した。
- ・流下範囲について、尾根に近い部分からかなりの湧水があり、急こう配部分では滝状に流下している。大規模な不安定土塊や流木の溜り、天然ダムなどは認められない。急こう配部以外では溪流内に巨石を含む石礫や土砂、侵食され残った土砂が残存している。

**【大沢田沢（おおさわださわ）】**

- ・山稜尾根付近の高所で3つの崩壊が発生しているおり、それぞれ土石流化している。流下の過程で大規模な測岸・溪床の侵食は起こっていない。一部の土砂が下流の砂防堰堤に到達しているものの、砂防堰堤下流への流下は見られない。

**【大水上沢（おおみずかみさわ）】**

- ・土石流、斜面崩壊の発生は認められない。

**【蛇抜沢（和合）（じゃぬけさわ（わごう））】**

- ・左岸に小規模な斜面崩壊が2カ所発生しており、溪流に土砂が到達している。斜面崩壊による溪流の湛水は確認されなかった。

**【北沢（きたさわ）】**

- ・土石流、斜面崩壊の発生は認められない。

**【神戸沢（ごうどさわ）】**

- ・山稜尾根付近の高所で崩壊が発生し、土石流化している。2基の砂防堰堤が整備されているが、土石流は上流の鋼製透過型砂防堰堤までは到達していない。

**【戦沢（せんさわ）】**

- ・山稜尾根付近の高所で崩壊が発生し、土石流化している。砂防堰堤まで土石流は到達しているものの、満砂までは至っていない。



調査山城全景



梨子沢上流の崩壊地



梨子沢における土石流の流下域（上流部）



梨子沢における土石流の流下域（下流部）